

第1回全旅連正副会長会議開催	1
全旅連女性経営者の会(JKK)が総会と10周年記念式典開催	2
第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」各賞決定(内定)	3
耐震化の現状と耐震補強工事を考える。業界紙が	4
全旅連と建設会社にインタビュー	

栄えある春の叙勲・褒章受章者／省庁だより／	5
消費税外税表示の実施事例	
全旅連青年部広報室	6
全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
全旅連協定商社会名簿	8

第1回全旅連正副会長会議開催 理事会提出議案などを審議

全旅連は5月9日、平成26年度第1回正副会長会議を開き、はじめに、東日本大震災総括本「命をつなぐ“おもてなし”旅館・ホテルの役割と挑戦」の作成について説明を行った。同企画は震災当初における旅館ホテルの被災者受け入れ活動の事例を集約しながら、地域の身近にある宿泊施設がいかにか社会的使命を果たしているかをアピールしていくもので、国における国土強靱化の推進体制の強化の中で旅館ホテルが一つの要となることを明らかにし、非常時を想定しつつ、平時における施策の見直しにもつなげていきたいとしている。

【議事】「チェーンホテルの一括入会」について佐藤勘三郎副会長(NHK受信料対策委員長)が、今後の方針について説明=写真=し、了承された。このほか、平成25年度事業報告並びに決算報告、平成26年度収支予算案の修正案、協定商社新規入会についてヤフー株式会社、近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社(5月29日入会審査会を経て入会)、第92回全旅連全国大会の大会スローガンと、例年実施している緑化推進基金は「福祉基金」として社会福祉法人青葉福祉会へ贈呈していくことなどを承認した。

また、旅館ホテルの建物の耐震化促進として、大分県がまとめた「国と各都道府県知事への要望の原案」を全国で統一することによって国に対し強く要望していくことができるよう全旅連では各県の組合(支部長)にその取り計らい(知事への要望書の提出)を要請していくことになった。同原案は旅館ホテルの重要性・必要性、耐震改修に向けた経営上の課題などについて述べ、関係省庁による連絡会議を設置した上で総合的な支援を検討する必要があるとし、具体的な要望内容(耐震改修補助や融資制度など6項目にわたる)を記述した。各県の知事がこの原案を6月に行われる全国知事会で共通認識として示すことによってこれを決議し、知事会から国に対して強く要望してもらうことを目的としている。

【報告事項】

◇国家戦略特別区域における旅館業法の特例=政府はこのほど、国家戦略特区で実施する規制緩和



について政令案を示した。そのうち、マンションの空き室など宿泊施設として利用できる旅館業法の特例を設けることが盛り込まれている。2020年のオリンピックに向けた動きの中で、外国人観光客が安い宿泊費で日本に長く滞在できるようにする狙い。外国人短期滞在施設の要件では、「7～10日の範囲内において条例で定める期間以上の使用期間であること」(7～10日以上)の連泊客に限定するというなどとしている。行き過ぎた規制緩和については見直しの要望を行うとし、都道府県知事部局に今後国家戦略特区の申請を予定しているか早急に確認をして欲しいと呼びかけた。

◇ストレスチェック制度の創設=労働安全衛生法の一部改正により、事業場におけるストレスチェック制度が義務化された。労働者全員でなく、対象者は、希望者のみで、産業区の選任・義務のある従業員50人以上の事業場に義務づけるもの。(50人未満は努力義務)

◇外食等におけるアレルギー情報の提供の在り方検討会開催要領=消費者庁では外食等におけるアレルギー情報の提供促進を図っていく観点から検討会を開催し、アレルギー患者等にとって必要な情報提供の内容およびその提供方法と、事業者にとって実行可能性のあるアレルギー情報の提供促進のための方策などを検討していく。

このほか、第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」エントリー数(団体16件、個人5件)やNHK受信料の組合取りまとめ支払参加率(平成26年3月末で68.5%)などを確認した。

全国旅館ホテル事業協同組合については平成25年度事業報告並びに収支決算報告が承認された。

全旅連女性経営者の会(JKK)が総会と10周年記念式典開催

業界振興に活かす各種活動を推進 10周年では歴代の会長が其々の時代の活動を

全旅連女性経営者の会(JKK、北川雅代会長)は4月22日、東京・千代田区のホテルルポール麹町で総会と



同時に設立10周年記念式典および基調講演を開催した。総会では全議案が承認され、組織の強化と情報の共有化による会員間の交流の推進、経営者としての資質向上を目的としたセミナーの開催、会員が講師を務める実践的で経営に役立つ講座の実施などを含む今年度事業計画を決めた。会員向けのセミナーは今年度も開催。7月8、9日の大

総会であいさつする北川会長。業界が抱える問題を女性の目でみて、聞いて、確かめて、経営に役立てていきたいと述べた



活動報告する歴代会長。左上から平松、稲熊、清水、石橋の諸氏

阪府・あまみ温泉で行われる定例会議での「客室に潤いのおもてなし『季節のなげいれ花講習会』」のあと10月、来年1月と3回の開催を予定。また、社会貢献事業としてピンクリボン運動を通しての乳がん検診の啓発や岩手県大船渡仮設住宅で暮らす被災者が制作した「ちりめんストラップ」の販売支援なども行っていく。

続いて行われた10周年の式典では冒頭、北川会長が「多くの人たちの支援があって10周年を迎えることができた」と謝意を示したあと、「会は小原顧問の呼び掛けで当初8人でスタートし、現在会員は51人を数えている。これからも発足当時の思いを忘れずに会員が心をつなげて所期の目的に向かっていきたい」、来賓の佐藤会長が「東京オリンピックを控え、JKKのみならず旅館の国際化を図り、外国人客の誘致に取り組んでほしい」とあいさつ。また、同会の発足とJKK顧問としてその運営に尽力したことで感謝状を贈られた小原氏は、「JKKの発展を心から喜んでいる。これからも皆さんにはサービスだけでなく、経営に関する数字にも詳しくなって、会社の柱として力を発揮してもらいたい」と述べた。このほか、全旅連青年部の山口部長の代理として宮澤副部長があいさつ。来賓では、



記念式典であいさつする左から佐藤会長、小原JKK顧問、宮澤青年部副部長



式典で目的唱和を行う会員(左)大勢の来賓たち



懇親会での会員と来賓たち

基調講演 「ほめ達!」が人と組織を活性化 あなたの周りにはダイヤの原石がいっぱい!

10周年記念では『「ほめ達!」が人と組織を活性化～あなたの周りにはダイヤの原石がいっぱい!～』を演題に基調講演も行われた。講師を務めた日本ほめる達人(ほめ達)協会(大阪)の西村貴好理事長が、やる気を引き出すことで業績向上につながった事例を紹介。「ほめるとは人やもの、出来事の価値に気付き、相手に伝えること。他人との違いをコミュニケーションに活かしてほしい」と語った。



講師の西村氏を囲んで。北川会長、高橋、岡本両副会長

松村秋田県理事長、今井東京都理事長、池田埼玉県理事長代理、中村愛知県副理事長、瀧岐阜県理事長、岡本大阪府理事長、青年部から永山、横山両歴代部長、村山埼玉県部長らが出席した。

祝電披露のあと、現職を含めた5人の歴代会長がそれぞれ在任当時の活動を発表し、委員会の設置、ピンクリボン運動の推進、「女性経営者がそばに置いておきたい冊子」の作成などの事業を振り返った。

第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」各賞決定(内定)



選考委員会であいさつする橋本委員長

全旅連は第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」の最終回となった第2回選考委員会を5月14日に開き(第1回は4月25日に開催)、各賞の受賞者を右記のとおり決定(内定)した。第17回のエントリー数は団体16件、個人5件で合計21件。選考はすでに委員から寄せられた採点表をもとに行われた。

◇厚生労働大臣賞には宮城県気仙沼市の「ホテル望洋」【東日本大震災一次避難所として】。東日本大震災直後から避難民に施設を開放し、その後約70日間にわたり一時避難所、物資供給所としての役割を果たした事が高く評価された。

◇全旅連会長賞には新潟県の岩室温泉旅館組合【日本一暮らしやすい温泉地をめざして～観光施設をコアにした住民×観光でつくる地域横断型共創イベントの実施～】。観光施設と地域活動を上手く活用して誘客を試みようとする取り組み。地域活動が誘客に結びつき、地域を訪れるお客様が地域活動を元気にするという相乗効果が評価された。

◇選考委員会賞には静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合 子どもに安全・安心な温泉入浴推進事業ワーキンググループ【乳幼児連れのお客様歓迎マニュアル作成事業】。静岡県内の旅館ホテルが乳幼児連れのお客様に対して快適なサービスを提供できるようにと「乳幼児連れのお客様歓迎マニュアル」を作成した。

選考委員会の委員は次のとおり。敬称略

橋本俊哉(委員長=立教大学観光学部観光学科教授、工学博士)、依田泰(厚生労働省)、中根裕(株JTB総合研究所)、井門隆夫(株井門観光研究所)、村橋克則(株オブリージュ)、森田淳(株観光経済新聞社)、大橋菜央(株リクルートライフスタイル)、八鍬進(料飲観光広報事業社)、楠崎正人(株産経新聞)、武田真理子(株柴田書店)、全旅連の佐藤信幸、大木正治、野澤幸司、多田計介(なお、全旅連関係委員は採点には携わっていない)。

厚生労働大臣賞の「ホテル望洋」については、まんすりー3月号にコンシェルジュ読本作成委員会の現地調査として掲載。全旅連会長賞から優秀賞までの内容については、7・8月の合併号から順次掲載の予定。

第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者

この賞は、高齢者等をはじめ、全ての人々に優しい配慮がなされており、安心して快適に楽しめる社会環境づくりに貢献した旅館ホテルや組合等の活動に対して贈られるものです。

厚生労働大臣賞

ホテル望洋「東日本大震災一次避難所として」〈宮城県〉

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会会長賞

岩室温泉旅館組合「日本一暮らしやすい温泉地をめざして～観光施設をコアにした住民×観光でつくる地域横断型共創イベントの実施～」〈新潟県〉

選考委員会賞

静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合 子どもに安全・安心な温泉入浴推進事業ワーキンググループ「乳幼児連れのお客様歓迎マニュアル作成事業」〈静岡県〉

観光経済新聞社社長賞

栃木県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部「宿泊従業者向け人材育成事業の実施」〈栃木県〉

リクルートライフスタイル「じゃらん」賞

香川県ホテル旅館生活衛生同業組合「瀬戸内国際芸術祭2013『楽々チェックイン・バッグジ・デリバリーサービス』」〈香川県〉

全旅連シルバースター部会長賞

鈴の宿 登府屋旅館「車いすでも家族旅行を気軽に安心して楽しめる仕組みづくり」〈山形県〉

優秀賞

- *伊香保温泉旅館協同組合婦人部お香女会〈群馬県〉
- *今津サンブリッジホテル〈滋賀県〉
- *今治地方観光旅館ホテル同業組合〈愛媛県〉
- *南宇和旅館ホテル組合〈愛媛県〉
- *大分県旅館ホテル生活衛生同業組合〈大分県〉

努力賞

- *猿ヶ京温泉旅館協同組合〈群馬県〉
- *伊香保温泉旅館協同組合〈群馬県〉
- *四万温泉協会 地域づくり委員会〈群馬県〉
- *館山市温泉事業組合〈千葉県〉
- *ホテルオースプラザ〈愛知県〉
- *山代温泉旅館協同組合〈石川県〉
- *川口屋城崎リバーサイドホテル〈兵庫県〉
- *道後温泉旅館協同組合〈愛媛県〉
- *古湯温泉旅館組合青年部〈佐賀県〉
- *宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合〈宮崎県〉

耐震化の現状と耐震補強工事を考える。業界紙が全旅連と建設会社にインタビュー

全国旅館会館にみるハイパー耐震工法 外観を損なわず短期間での居ながら施工を実施

改正耐震改修促進法によって昭和56年以前に建築された5千平方メートル以上の旅館ホテルにおいて耐震診断と耐震診断に基づく耐震改修が待たれるなか、すでに診断と改修を終えている全国旅館会館で5月9日、業界紙の旅行新聞社による耐震化の現状と耐震補強工事についての取材が行われた。全旅連から佐藤会長、北原耐震補強工事推進委員長、佐藤勘三郎副会長、工事施工者の松尾建設株式会社から西原、松本の両氏が出席し、石井旅行新聞社社長のインタビューに答えた。質疑に対する各氏の応答をまとめた概要は次のとおり。

【耐震化に関する現状と課題】=改正耐震改修促進法で義務付けられた耐震診断は平成27年12月末までとされ、また、耐震改修が必要とされた場合は、同時に早期に着手することを事実上迫られている。唐突ともいわれた法改正、そして、あまりにも性急すぎる法改正での対応が旅館業界に求められた。数百万円と言われる耐震診断、また少なくとも数千万から数億円かかると言われる耐震改修の費用捻出の見通しもないままに法改正だけが先行されたことを憂慮する声が多い。行政による補助制度も設けられたが、国の補助制度は地方自治体が同時に補助するか否かで補助率に大きな差が生ずる。さらには耐震改修が必要となった場合、工事のため宿泊客を受け入れられない場合の減収分のカバーなど、業界では、「宿泊客の安全確保ということで法令順守は大事にしたい」としながらも、多くの不安を抱えての対応となっているのが現状だ。

これからも全旅連では、地方自治体の補助制度導入の徹底、耐震診断・改修の期間や補助金の交付期間の延長、また、低利な融資制度の設置とともに旅館ホテルに対する「防災拠点」(避難所)としての指定などを求め、新たな運動を進めていく構えだ。

【次世代型耐震補強を採用した旅館会館】=旅館会館の耐震診断・改修では、数社の中から最終的には松尾建設に依頼、あらゆるコンクリート建築に対応でき、安価で容易な補強工法として開発されたハイパー工法による補強を行った。これは既存建築物の耐震改修に革新をもたらす工法で、柱・梁の接合部など



耐震化の現状と耐震補強工事についてインタビューを行う旅行新聞社の石井氏。全旅連役員と建設会社が出席した(5月9日、全旅連役員室で)



左から松尾建設の西原(右)と松本の両氏。司会を務める旅行新聞社の石井社長と佐藤会長



ハイパー工法で補強された全国旅館会館入口の柱



ハイパー工法の導入に至るまでの経緯について語る北原氏(左)と耐震工法に望みたいことについて語る佐藤氏(右)

形状が複雑な部位にも施工可能だ。耐震強度および制振効果(靱性=ねばり)の双方を兼ね備えている。様々な建物に対応するうえに、工事中でも立ち退く必要はないという、居ながら施工、短期間に完了する工事(旅館会館の場合工事そのものは4カ月で終了)などが特徴。また、何よりも建物の外観を損なわないというメリットもある。さらには、重機が必要な重量鉄骨部品ではなく、運搬・施工が簡単な軽量部材を使用している点も旅館ホテル向きの工法といえる。なお、全国旅館会館ビル耐震補強工事での経費は、耐震改修工事費用144,900,000円(消費税5%込)、耐震診断費用3,150,000円、耐震診断計画判定料672,000円となっている。

【耐震診断・改修に当たっての留意点】=耐震改修での工法はブレース、耐震壁、アウトフレーム、柱等補強などがあるが、工期、コスト、居ながら、美観、騒音・振動、採光・通風などを重視した上で、その旅館・ホテルの特性や状態を通して一番適した工法を選択することになるが、耐震診断・改修は諸々の理由から一つの会社に絞って依頼し、耐震診断→補強設計→見積もり→耐震改修が一貫して行われることが望ましいとされた。

栄えある春の叙勲・褒章受章者

4月29日に平成26年春の叙勲・褒章者が発表された。

旅館ホテル関係の受章者は次の通り

【褒章】

◇藍綬褒章(生活衛生功労)
大木 正治=現愛媛県旅館
ホテル生活衛生同業組合
理事長、現全旅連会長代
行、ホテル葛城(愛媛県松
山市道後温泉)



5月12日の伝達式での大木会長代行

◇黄綬褒章【業務精励(旅館業務)】
西村 時枝=柊家(京都府京都市)大女将

【叙勲】

- ◇旭日中綬章(観光事業功労)
佐藤 義正=元一般社団法人日本旅館協会会長、元
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会副会長、
湯守ホテル大観(岩手県盛岡市)
- ◇旭日双光章(生活衛生功労)
鮎田泰三=元愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合
理事長、ふなや(愛媛県松山市道後温泉)
- ◇旭日単光章(生活衛生功労)
岩瀬 公男=現大分県旅館ホテル生活衛生同業組
合副理事長、岡本屋旅館(大分県別府市)

省庁だより

食品リサイクル法に基づく「定期報告」を!【提出期限は6月30日まで!】

食品リサイクル法に基づき、食品廃棄物等の前年度
の発生量が100トン以上の食品関連事業者は、毎年
度、主務大臣に食品廃棄物等の発生量や食品循環
資源の再生利用等の状況を報告することが義務付け
られています。報告書様式は農林水産省のHPから
ダウンロードできます。

《定期報告に関するホームページ》

[http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/
syokuhin/s_houkoku/index.html](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syokuhin/s_houkoku/index.html)

年間100トン以上の食品廃棄物等の発生量がある

にもかかわらず、定期報告が行われていない食品関連
事業者は、食品リサイクル法に基づき報告徴収及び立
入検査並びに罰則(20万円以下の罰金)の対象となり
ます。また、平成26年4月から26業種について「食
品廃棄物等の発生抑制の目標値」(基準発生原単位)
が設定されています。再生利用(飼料化、肥料化など)
に向けた取組と併せてご対応ください。

○旅館業の発生抑制目標値

お客様一人当たり777g以下

消費税外税表示の実施事例

(東京都港区ビジネスホテルでの例)

【外税表示後、宿泊客の反応など】

当ホテルはいわゆる“ビジネスホテル”です。
自社ホームページを含めネット経由での予約が
70%、電話を中心とするネット以外での予約は
30%です。消費増税については本年3月までの
間にマスコミ報道を中心として巷では話題にな
っていましたので、お客様も大部分の方が理解
されていたように感じました。

当ホテルは消費税が上がった3%分だけを現
行のタリフ料金に加算させていただきました。
表示方法は原則(例:シングルルーム:8,600
円(消費税込9,288円))とさせていただきます。
料金の改定は、お客様に上乘せ(8%にな
った旨)を説明しますと皆様納得され、フロント
又は電話口でのトラブルはありませんでした。
料金表示については、一部客室インフォメー
ション冊子や従来のタリフ(印刷物)への変更が

追いつかず、早急に対応するべく準備をしています。
(組合より送付された文言を使用します。)

また、フロント会計のシステムが一部対応できない
ことも判明し、従来の5%と新規の8%の表示が同時
には行えず、4月以降は消費税5%であった予約も8%
での表示となるため、その差額をホテル側が負担する
事例がありましたので、次に予定されています10%に
向けてシステムの見直しも考えています。

【4月の業績について】

年度替わりの4月は新入社員研修などでの宿泊が
例年に比べ多く、また、東南アジアを中心とする外国
人観光客の増加に伴い、宿泊売上前年比:107.1%と
いう結果でした。1~4月で見ましても前年比を各月超
えており、宿泊は引き続き順調に推移しています。都
内の同業者情報でも各地区順調なようです。5月の状
況はGW期間については前年と同様でそれ以降が勝負
の鍵となりそうです。



本年5月5～7日にパリで開催されたOECDフォーラム／閣僚理事会において、全旅連青年部が、世界の閣僚・有識者に対して「RYOKAN」の魅力のアピール

全旅連青年部は、観光庁、OECD日本代表部、日本政府観光局（JNTO）、エクサアールと連携し、5月5日～7日にフランス・パリで開催されたOECDフォーラム及び閣僚理事会の会場内において、



OECDフォーラム参加者に写真を求められて応じる
山口全旅連青年部長と倉沢部員

OECD加盟国の閣僚や政府関係者、有識者、国際メディアに対して、「RYOKAN」の魅力のアピールした。山口敦史（やまぐちあつし）全旅連青年部長（山形県天童市／ほほえみの宿 滝の湯 専務）、倉沢晴之介（くらさわはるのすけ）同インバウンド戦略委員会副委員長（長野県上田市／別所温泉 上松屋旅館 副社長）が、会場内に特別に設置された訪日観光PRスタンドにて、着物姿で「RYOKAN」冊子を配布しながら、OECD加盟国の要人や世界の有識者に対して、旅館の持つ様々な魅力を説明した。

スタンドには、安倍総理のほか、岸田外相、茂木経産相、二階衆院予算委員長、グリアOECD事務総長や他国の首脳にもお立ち寄り頂き、全世界に向けて「RYOKAN」ブランド構築を目指す全旅連青年部の取り組みについて、理解頂くとともに激励を頂いた。

全旅連青年部は、今後とも、全世界に対し「RYOKAN」ブランドを発信するべく、政官民のキープレイヤー達と連動しながら、様々な活動を積極的に企画・推進していく予定。



安倍総理、グリアOECD事務総長、プラトウシェクスロベニア首相と記念撮影をする全旅連青年部メンバー

【参考情報】

○ OECDフォーラム及び閣僚理事会について

OECD（経済協力開発機構）は、欧米先進国を中心に34カ国が参加し、世界の政治経済の向上に向けて、参加国首脳による協議、各分野の専門家による分析や提言を行う国際機関。年に一回、全加盟国の閣僚が参加する閣僚理事会を実施しているが、閣僚理事会に併せて、民間の知識人やエキスパートが参加するOECDフォーラムを開催。

○ エクサアールについて

フランス、米国を拠点に活動するビジネスインキュベーター、EXA Partners（本社パリ）が設立した全世界向け「RYOKAN」ブランディング事業会社。ポータルサイト「Ryokan Experience」を運営。代表は、方 健太郎（かた けんたろう）。

○ 「RYOKAN」冊子について

旅館の歴史、構造、食・風呂・庭・衣などの様々な魅力、地域性などを、写真とともに20ページにわたって説明したもので、今回のOECDフォーラム／閣僚理事会向けに、全旅連青年部とエクサアールが共同で作成。英語版と仏語版を用意し、400部以上を配布。

全旅連会議開催

【5月】

9日(金)

- 第1回全旅連正副会長会議
- 東日本大震災総括本作成打ち合せ
- チェーンホテル一括入会に関する打ち合せ
- 全国旅館会館耐震補強工事取材

14日(水)

- 第17回「人に優しい地域の宿づくり賞」
選考委員会(第2回)

15日(木)

- 国際ヘルスリゾートシンポジウム
(後援:全旅連シルバースター部会)
於:日仏会館(東京都渋谷区恵比寿)

21日(水)

- 全旅連青年部常任理事会他
於:宇奈月国際会館セレネ(富山県黒部市)

29日(木)

- 全旅連協定商社会入会審査会

関係団体総会スケジュール

6月11日(水)

- JTB協定旅館ホテル連盟
於:ロイヤルパークホテル(東京都中央区)

6月24日(火)

- 一般社団法人日本温泉協会
於:四万グランドホテル(群馬県四万温泉)

6月26日(木)

- 一般社団法人日本旅館協会
於:帝国ホテル(東京都千代田区)

全旅連協定商社紹介

4月1日より、旅館ホテル組合員むけ
団体保険として販売開始しました。

AIUの業務災害総合保険『企業防衛プラン』

労務トラブル
ひとくちメモ

リスクを軽減するのは初期対応です！

1 初期対応

心身不調になった従業員への対応など、労務トラブルについて臨床心理士・社会保険労務士に相談したり、弁護士に法的な相談をする。

2 補償

従業員のケガや病気について、保険金等で補償をすることで、会社から従業員を金銭面でサポートする。

3 賠償

万一訴訟問題となった場合には、使用者責任をカバーする賠償保険で対応する。



お問合せ先

AIU損害保険株式会社

マーケティング部担当: 竹内

Tel:03-5819-5545 Fax:03-5619-2619

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「リスクマネジメント」

巷では集団的自衛権についての議論がやっと深まりつつある。個人としては「国際法上、基地の提供は集団的自衛権の行使とみなされる」(憲政史研究者:倉山満)と思うが。

国家も企業も個人も危機に対する意識をしっかり持つことが求められている。そんなことを考えているときにふと、ピーター・L.バーンスタインの名著「リスク:神々への反逆」を思い出した。そこには、リスクの語源は「勇気を持って試みる」ことで、元来受動的な意味はなく、能動的に未来を選択する意味をもつとある。リスクの語源はラテン語のrisicoで、「断崖絶壁の間を縫って航行する」という意味をもっている。

「リスクマネジメント」とはこれから起きるかもしれないことを想定し準備することだ。「暗い未来」に対しては予想されるダメージを最小にすることが求められる。反対に「明るい未来」に対してはチャンスを最大にしたいものだ。

リスクを冒さない確実な未来を望む人生も悪くはない。しかし、現在が不確実であるならば勇気をもって断崖絶壁の先にある未来を目指したい。そこにしかチャンスはない。

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)

または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

全旅連カード決済サービス(全旅連C→REX)のご案内

全旅連カード決済サービスとは、C→REX端末を設置することで、クレジットカード等が特別な手数料で決済可能となるクレジットカード一括加盟店決済サービスです。

決済手数料率について

クレジットカード

VISA、MasterCard等	2.6%	ダイナースカード	4.6%
中国銀聯カード	2.9%		

デビットカード

J-debit加盟の日本の郵便局・銀行のカードのデビットカード決済にも利用可能で、手数料は1.8%(上限250円、下限50円)となっています。

サービスを利用するうえで必要となる費用は、導入の際に端末設置管理料30,000円(消費税別)、電話回線手続き・工事費用等、並びに、端末利用料として月額1,500円(消費税別)。但し、クレジット一括加盟店決済サービスの利用額が月間100万円以上の場合、端末利用料が無料となります。

※「クレジットカード一括加盟店決済サービス」のご利用は、審査によりご希望に添えない場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。

全旅連カード決済サービス(全旅連C→REX)についての問い合わせは全旅連(03-3263-4428)または、JTB C→REXセンター(03-5796-5100)まで。

全旅連協定商社会名簿

システム・シャイン・サービス(株)	ジュータンのメンテナンス(シミ・汚れにSUPER 3S)	〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-8-10 加藤 卓	TEL 03-5996-5407 FAX 03-5996-5405
(株)トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F ホテル旅館事業部 マネージャー 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒107-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社 部長 中野 秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 営業企画部 市場開発 担当課長 古川 強志	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
丸八真綿グループ(株)マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-8-12 8階 営業部 辻 雄太	TEL 045-471-0818 FAX 045-475-0822
サントリーフーズ(株) 【サントリーコーポレートビジネス(株)】	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	(東日本担当)〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル 東部広域自販機開発部 部長代理 大沼 潔 (西日本担当)〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18階 西部支社 法人営業部 部長代理 桑田 美仁	TEL 03-3479-1528 FAX 03-3479-2104 TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
(株)リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 大野 雅矢	TEL 03-6835-6405 FAX 03-6834-8629
(株)セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂 博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル 販売企画部 全旅連担当課長 田崎 裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-5381-7832
(株)第一興商	カラオケ機器(DAM)音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 エルダー事業開発部 営業課 牧野 茂	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0962
大阪ガス(株)	ガスの製造、供給及び販売、ガス機器の販売	〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町3-5-11 エネルギー開発部営業開発チーム 課長 和田 荘	TEL 06-6205-4674 FAX 06-6202-2190
(株)コジマ	家電製品全般	〒171-0033 東京都豊島区高田3-23-23 高田本部ビル8F 営業本部 法人営業部 主任 古内 隆宏	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
(株)エクシング	カラオケ機器(JOYSOUND、UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 直販営業部法人開発G 担当部長 田中 茂孝	TEL 0120-992-173 FAX 03-6848-8186
(株)まごのてらライフサービス	空調機の高圧洗浄及びクリーニング	〒184-0013 東京都小金井市前原町5-1-14 北多摩建設会館1F 専務取締役 粟野 和司	TEL 042-388-5123 FAX 042-316-1427
東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 主任 渡邊 典昭	TEL 03-5299-3491 FAX 03-5537-3471
AIU損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 センチュリープレイス山形 山形支店 支店長 菅原 勲	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
キャンシステム(株)	音楽・映像放送事業、防犯カメラ事業等	〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-1 事業担当本部 企画部 次長 堀池 元洋	TEL 03-5397-3333 FAX 03-5397-9447
楽天(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-9 楽天タワー2号館 トラベル事業 国内営業部 吉崎 弘記	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
(株)宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園 勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
(株)ユーコム	ホテル・旅館専用宿泊管理業務支援システム	〒700-0901 岡山県岡山市北区本町10-17 本町第一ビル 坪田 達摩	TEL 086-234-7343 FAX 086-234-7333
(株)シーナッツ	予約・販売管理システムT-レーンカーン	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴ沙留8F システムソリューション本部 営業グループ 田代 一義	TEL 03-5404-6702 FAX 03-5404-6706
(株)ワコム	ペンタブレット端末を活用した宿帳の電子化	〒160-6131 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー31F タブレット営業本部 マーケティング部VMGr.マネージャー 中達 隆司	TEL 03-5337-6706 FAX 03-5337-6514
(株)アルバン	自動麻雀卓・イス・サイドテーブル等	〒164-0003 東京都中野区東中野2-1-2 営業部 須浦 正裕	TEL 03-3227-1190 FAX 03-3227-1150
(株)i.JTB	るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 るるぶトラベル販売部 営業推進担当部長 清水 隆	TEL 03-5796-5675 FAX 03-5796-5863
推奨 三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 東京支社 業務統括部 参事 倉場 和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234

(平成26年5月1日現在)

腸内細菌検査、ノロウイルス検査 旅館・ホテル組合員特別価格のご案内

	腸内細菌検査(検便)	ノロウイルス検査
検査項目・方法	サルモネラ菌、腸チフス菌、パラチフスA菌、赤痢菌、腸管出血性大腸菌O-157	RT-PCR法による遺伝子増幅法検査
報告日数	3～5営業日	1～3営業日
料金	※組合員特別価格 300円/1検体(税別)	※組合員特別価格 検査料金 2,950円/1検体(税別) 検査容器代 50円/1検体(税別)
備考	検体送料は、定期的実施分は弊社で負担いたします。追加実施分は、お客様で負担願います。	検体送料は、お客様で負担願います。(宅配便クール冷蔵指定)

検査申込書ダウンロード

全旅連公式HP
「宿ネット」組合員専用ページ
<http://www.yadonet.ne.jp/member/>

お申込・お問合せ

JFE東日本ジーエス株式会社
食品衛生調査センター
TEL:044-328-2788
FAX:044-333-1655
<http://www.eisei-chosa.com/>

安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。国内の宿泊旅行に限ると、2～3割が高齢者である現在、高齢者の宿泊施設へのニーズが強い事は当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。

シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで約1,000軒の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。
◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL: <http://www.yadonet.ne.jp/>
全旅連シルバースター部会公式サイト(人に優しい宿サイト)URL: <http://yadonet2.jp/>